

## 学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
美術	美術1	1	2	「美術1」 酒井 忠康 他26名（光村）	
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</li> <li>・与えられた課題に向かって努力し、主体的に行動に移せる能力と精神を養う。</li> <li>・様々な道具の使い方や技法、美術史や郷土作家などについて学習し、制作活動に生かせる知識を養う。</li> </ul>				
評価の観点	知識・技能	材料や用具の特性を活かして表現方法を工夫して制作できたか。対象をよく観察、またはイメージ化し、造形的な視点を養うことができたか。			
	思考・判断・表現	制作意図に応じて創意工夫し、よりよい方法・作品になるようにを模索したか。			
	主体的に学習に取り組む態度	美術の意義、美術作品のよさや美しさを理解し、心豊かな生活や社会を創造する態度を身につけられたか。			
学習の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えが表現できるよう構想を練り、形態や色彩を創意工夫することができたか。</li> <li>・また作品鑑賞では、自分の感じた事を文章などで表現することができたか。</li> </ul>				
学期	単元	学習内容			学習の目標
1 学期	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習の取り組みについて理解する。</li> </ul>			
	絵画 鉛筆デッサン 「基礎立体」「手」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフをしっかりと観察することを意識し、集中して描く。</li> <li>・モチーフの形体や色、質感などの特徴を捉えて描く。</li> <li>・光の方向を意識して陰影をつけたり、形に添ってハッチングすることによって形態を立体的に表す。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆についての理解を深めることができる。</li> <li>・正しくモチーフの形を捉えることができ濃淡により立体的に表現することができる。</li> </ul>
	絵画 油彩画 「風景画」F6号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油絵の具の基本的な使い方を学習する。</li> <li>・遠近法を理解し奥行きのある構図を考える。</li> <li>・色彩について学習する。</li> <li>・重色、混色について学習する。</li> <li>・描いた作品の造形的な美しさを感じ取る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚から得た情報を正確に捉えることができ、混色をすることで複雑な色合いで表現することができる。</li> <li>・油絵の具の特長、色の性質を理解し効果的に生かすことができ、遠近法などを意識して描いている。</li> </ul>
	講評会 映像メディア表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。</li> <li>・アニメーションの手法、歴史を学習する。</li> <li>・カメラについての歴史について学習する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーションやカメラについての理解を深めることができる。</li> </ul>
2 学期	デザイン 「キャラクターデザイン」 起き上がり小法師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地の伝統工芸についての興味関心を高める。</li> <li>・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな発想力でデザインし、計画を元に表現することができる。</li> <li>・起き上がり小法師の原理を理解し、独自の表現方法で個性豊かに表現することができる。</li> </ul>
	絵画 油彩画 「空想画（自己表現）」 F6号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の内面を見つめ、主体的に主題を生成し、色彩や形体などの構想を練る。</li> <li>・油絵の具の使い方や特徴について理解し、重ね塗り、タッチ、マチュールなどを工夫し、思いを表現する。</li> <li>・混色、重色の効果を考えながら計画的に作業を進める。</li> <li>・ゴッホやピカソなどの作品を鑑賞し作者の感情の移り変わりや作品について理解を深める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造性豊かな発想することができ、混色をすることで複雑な色合いで表現することができる。</li> <li>・自己を客観的に捉え、表現することができる。</li> <li>・油絵の具の特長、色の性質を理解し効果的に生かすことができ、物の質感や立体感等を意識して描いている。</li> </ul>
	講評会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。</li> </ul>			
	工芸 「ペーパーナイフ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使う場面や目的に合わせて形状を考えそれを実際に製作できる能力を養う。</li> <li>・木材を加工する道具についての使い方を学習する。</li> <li>・塑造（モデリング）と彫刻（カービング）について学習する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材の特徴と道具の使い方等を正しく理解し、効率的に制作することができる。</li> <li>・作品全体のバランスを考え美しさと機能美を兼ね備えた作品制作をすることができる。</li> </ul>
	キーホルダー制作				<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材の特徴と道具の使い方等を正しく理解し、独創性豊かな作品を効率的に制作することができる。</li> </ul>
	講評会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。</li> </ul>			
	ビデオ鑑賞等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県ゆかりの作家などについて学習する。</li> </ul>			